

## Enigma Sopranino の活用(4)

—総合評価—

### 1. 始めに

[Sopranino の導入\(14\)](#)では Enigma の Sopranino の導入報告の結果を総括し、さらに[前報\(1\)](#)、[前報\(2\)](#)および[前報\(3\)](#)において Sopranino の設置方法を検討しましたので、この機会にオーディオ仲間の S 氏、K 氏、Mt.T2 氏にお越しいただき、それらの結果を確認していただきました。併せてインフラノイズが開発した[タップリベラメンテとフィルタライザー](#)の効果も確認していただきました。タップリベラメンテとフィルタライザーは製品版が間に合わず、最後の詰めができたという段階の試作品を借用することができました。

### 2. Sopranino の総合試聴

Sopranino の導入(14)では Sopranino の各種スピーカーへの付加の効果を総括していますが、これらの中から JBL4350A と FAL C90EXW を対象に効果を確認していただくことにしました。なお、FAL C90EXW と JBL4350A は前述のとおり、Sopranino の導入(14)までは、スピーカーの上に乗せた場合の評価ですが、前報(1)から前報(3)以降は、スピーカー台を使って Sopranino を高域ドライバーに近づけて聴くようになっています。

最初の JBL4350A では S 氏からこれが JBL かと疑うくらいの変り様であるとの感想が飛び出しました。特に、スタンウェイの左手の打鍵の響きや、グランカッサの弱打がずんずんと響いてきたり、パーカーシヨンの音になる前のパフッと迫ってくる威圧的な空気感を味わっていただけました。

FAL C90EXW になると、K 氏から JBL4350A で気になっていた合奏の溶け合いなどは解消されたとのコメントがありました。3つの弦楽四重奏団によるモーツァルトの「不協和音」の聴き比べでは、それぞれの音楽の作り方や演奏技量などが手に取るように分かるとの感想がありました。また、マーラーの1番終楽章のアメリカとドイツのオケの聴き比べでも解釈や演奏技法の違いを分かっていたいただきました。クラシック畑ではない Mt.T2 氏からは、演奏とそれに対する諸氏のコメントを聞いていてクラシックの聴き方が理解できるようになってきたとのコメントがありました。

フォノイコの iPhono にタップリベラメンテとフィルタライザーを適用した後、持参していただいたアナログを EMT XSD-15 で聴いていただきましたが、Mt.T2 氏からは写真の Jazz の盤も合格であるとのことでタップリベラメンテとフィルタライザーの威力を認識していただけました。これまで弦や木管の倍音の表現力やオーケストラ

の各パートの分離と溶け合いを念頭に調整してきたものですが、K氏からも Jazz でなんら問題はない、タップリベラメンテとフィルタライザーのペアーは音楽ジャンルを選ばないとのコメントがありました。



さらに K 氏秘蔵の写真のオペラのラッカー盤がかけられ、S 氏から絶賛の言があつて裏表全曲を聴いてしまいました。EMT XSD-15 固有の音色も消えて生の音に近い印象がしていました。



なお、タップリベラメンテとフィルタライザー使用の試聴結果の詳細は別報にて報告いたします。

### 3. まとめ

Sopranino の導入(14)における総括の内容、さらには、前報(1)、前報(2)および前報(3)の結果を三氏にご確認いただき、Sopranino の効果は音楽ジャンルや付加するスピーカーを選ばないという評価をいただきました。また、Sopranino に加えてタップリベラメンテとフィルタライザーの使用も、一層、その効果を増強できるという感触

を得ることができました。

以上